

平成29年（2017年）

WES 通信 9月号

今月号のトピックス

- ◎ 「夏期講習」終了～！
- ◎ 小学生イベント、「WILL 脳トレ」一塾長からの挑戦状～
- ◎ WILL 「通い合宿」
- ◎ WILL の先生紹介「肩笑い」の“岩崎先生”の巻～♪
- ◎ WILL の卒業生来塾



- ◎ WILL の卒業生たち～第3回 T.H 君～
- ◎ 時間割・授業システム変更
- ◎ 9月イベント
中3生「受験対策プレミアム授業」開講
小6生「中学準備英語」開講
中3生「三者懇談会」（9/30・10/1）
- ◎ 9月・10月の予定
予定表は必ずチェックしてね！

堺で生まれて23年、子どもたちの未来を育む — 1クラス6名の超少人数制学習塾

WILL 教育ゼミ

堺市北区東雲東町1-6-23宝永ビル2F

TEL:072-254-9988・FAX:072-254-9998

e-mail: willzemi@themis.ocn.ne.jp

WILL 教育ゼミ 夏休みイベント(その1)

H29年度「夏期講習」終了～！！

—— 7月21日(金)～8月31日(木) ——

生徒の皆さん、「夏期講習」お疲れ様～！！
中1生も中2生も、本当に良く頑張ってくれました。

そして何よりも中3生。
この夏休みほど大変な夏休みを過ごしたのは、初めてじゃないですか？



休憩時間、笑顔いっぱいの中3生

夏期講習だけならまだしも、部活、学校の宿題、そして遊び等々。

中3生 40日間で平均偏差値7アップ！



しかし、そんな多忙な中3生が、見事な結果を出してくれました！！

夏期講習直前に受けた模試と、直後に受けた模試で、
な、なんと塾生全体の平均偏差値が7アップしてたんです。

高校受験の世界ではあり得ない成果が出ました。

1年かけて1～2アップするのが普通の高校受験の世界。WILLでも、1年で平均8アップするのが過去2年の実績です。これでもすごいことなんです。

しかし、今年の中3生は違います。**わずか40日間で偏差値7アップ**してたんです。

勘違いしないでくださいね。少しばかりの授業を受けて上がったんじゃないんです。今年の中3生は、夏休み中の平均受講コマ数は全部で205コマ。(1コマ50分) 実に、170時間以上も塾で勉強したんです。

しかも、中3生のほとんどが部活生。**部活と両立しながらの成果**なんです。これには、我々講師陣もホントにびっくりでした。

普通は1日8コマ、そして部活や用事で欠席した授業は夜にすべて補習。出席率はなんと95%にも達しました。

偏差値5アップの成績アップ保証

実をいうと、WILLの夏期講習は「偏差値5アップ」の成績アップ保証をしてたんです。

もし偏差値が5以上アップしなければ、

「講習後、実力テストまで無制限の無料補習」「9月度の授業料無料」

なんです。（ただし、受講コマ数、出席率などの条件があります）



だから成績が上がったんじゃないんです。「無制限補習」がイヤだから頑張ったんじゃないんです。

それぞれが目標を立て、それに向けてこの夏休み必死で頑張ったからこそその成果なんです。

中には12以上アップした生徒をはじめ偏差値10以上も上がった生徒が6名もいました。

しかし、一方で結果が伴わず惜しくも偏差値5アップに届かなかった生徒がいたことも事実です。実は31名中6名が届かなかったんです。ごめんなさい。

これから補習に来る生徒たちは、この悔しさをバネに今後大きな成果を上げましょう。実力テストそして入試では、必ず結果が出るように。

過去夏期講習の成績アップが叶わず、補習を受けた生徒がその後大きな成績アップを勝ち取り、開講式で「体験発表」をした生徒が何人もいるのです。



中3生の夏期講習の勉強の様子。
みんな真剣に勉強しています。



WILL 恒例のアメ TIME
「どれにししようかな？」

みんなこの夏休み本気で頑張ってきたんです。誰一人いい加減に受講した生徒なんていないんです。

今回結果が出なくても、必ずその後すばらしい成績アップが待っていると信じています。

何はともあれ、何とか無事に「夏期講習」が終了しました。中3生はこれからが受験勉強の本番。最後の最後まで、気を抜かず、頑張りましょう。

最後になりましたが、講習期間中もお弁当のご用意をいただいたり、送り迎えをしていただいたりと、ご家庭の皆様のご協力があったからこそ乗りこえられました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

WILL 教育ゼミ 夏休みイベント (その2)

「小学生 WILL 脳トレ」

～塾長からの挑戦状～開催【8月25日(金)】

8月25日(金)小学生イベント「WILL 脳トレ」～塾長からの挑戦状～を開催しました。過去「計算漢字大会」として実施していた小学生イベントが進化。

「ぶっ夏期」できたえた“脳”力を、この日いかんなく発揮してくれました。

漢字パズルや計算パズルなど、大人でも頭を悩ませそうな難問、奇問(?)もありました。



真剣な面持ちで、脳トレのルール説明を聞く小学生たち

目的は「思考力」を身につけること。
自分の力で考え、自分の力で解く。

このような力が今、子どもたちに求められています。

ただ決められた解法を覚え、その通りやれば勝手に答えが出てくるというだけではだめなんですね。

それだけでは絶対に「思考力」はつきません。
普段なかなかそのような思考力を身につける勉強ができないんです。

本当は何通りも解き方があるような問題もたくさんあるんです。

そんなことを子どもたちにたくさん学んでほしいと思う気持ちで実施したんです。

でも、普段こんなことばかりやっていると、その学年で学ばなければならないカリキュラムが消化できないばかりか、新しく習う勉強がわからなくなってしまいます。

小学生の皆さん、今回やった「考えること」を決して忘れないで、今後の学習にも生かしていただきたいと思います。次回は冬休み頃に予定しています。



今回優勝の小6生、R君

WILL 教育ゼミ 夏休みイベント (その3)

「WILL 通い合宿」

～中2・中3 (8/9・8/10) ・中1 (8/11) ～

朝8時30分～夜10時30分までひたすら勉強のみの2日間 (中1は1日間)。

「合宿」と名はついていますが、ただの長時間の勉強イベント。
(普通に、朝塾へ来て、夜には自分の家に帰るだけです(◇)ゞ)

参加してくれた皆さん、本当にお疲れさまでした。

中3生は主に「テーマを決めて」勉強に臨みました。



恒例の10分間のお昼寝タイム

特に、初日の中3生の英語は、ただひたすら「長文読解」。
私が知る限りにおいて、この時期に「長文が得意」なんて言う生徒は一人もいません。ほとんどの生徒が「嫌い」だし、「苦手」なんです。

それを丸一日やり続けるなんて、まるで“拷問”。でも、すべて終わった後生徒に感想を聞いてみると、「最後は長文がスラスラ読めて自信がついた」という声がいっぱいあったんです。この調子で頑張ってくださいね。

そして2日目の数学は「関数・図形」。はっきり言って中学生の最も苦手とする分野です。何度も睡魔に襲われながらも、苦手分野をひたすら克服していこうとする姿には、私たちが心の中でずっと“エール”を送っていました。

中3生だけじゃないんです。中1生や中2生も本当によく頑張ってくれました。

普段、一人ではこんな長時間勉強できるわけないですものね。



差し入れのアイスを食べた笑顔の中3生。

でも、最後に生徒たちを書いてもらったアンケートでは、「終わって見たらあつという間やった」「来てよかった」「英語、数学だけでなく理科・社会でも“通い合宿”してほしい」なんていう声がいっぱい。そして、中1生、中2生は全員が「参加してよかった」と言ってくれました。

最後に、YさんそしてKさんのお母さま、アイスの差し入れ本当にありがとうございました。有難いお心遣いに、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

(WILLの先生紹介)

～ 「肩笑い」 (?) の “岩崎先生” の巻～ ♪ ～

今月は「肩笑い」の“岩崎先生”のご紹介です。
岩崎先生といえば「肩笑い」。「肩笑い」といえば岩崎先生。
笑うときは肩を上下に揺らしながら、全身で笑います。
そして、授業はいつも全力投球。決して手を抜くことなく、時には厳しく、時には温かく生徒を見守ります。でも、決して怒らせないでください。岩崎先生は“こう見えても”、合気道の有段者。
今でも暇を見つけては道場に通り、大会にも出るそうですよ。



笑顔がかわいい岩崎先生



誰がかいたの？そっくり～！

WILL では一番穏やかで優しいお兄さんの存在の先生です。
そして、一番若手の先生なんです。
現在2()歳、でももうすぐ()0歳。

【()内にそれぞれ当てはまる数を書き入れよ】

英語・数学ならなんでも OK。岩崎先生は高石市にある S 風 N 海高校出身で、あの O 阪大学出身なんです。
そして、学生時代からずっと塾の先生をしているんです。
そんな岩崎先生から皆さんに一言いただきました。

「はいどうも、こんにちは。岩崎です。何故か下の名前をよく問われるので、はっきりフルネームを書いておきます。انها تريد أن تتفق (何語？読めるわけね～だろ～)

そんなことより自己紹介でした。趣味、特技は合気道と料理です。投げ飛ばされたい、関節をキメられたいという生徒の皆さんは是非！(絶対にいるわけね～だろ～)

料理は、結構作ります。もちろん食べるのも大好きです。安心してください。

では、自分の中学生時代を思い出して少し書こうと思います。僕は超が付くほどのおちこぼれで、220人中200番ほどをウロウロするような成績でした。授業を聞いたときはほぼ分かる。質問にも答えられる。しかし宿題やテストになればできない。点数にならない。数学なんて平均で13点ほどしか取れませんでした。そんなとき仲の良かった成績優秀(学年で2位!)なAさんに勉強のコツをきくと、「コツかどうかはわからないけど、数学ならテスト範囲の問題を教科書、問題集の両方3周する。それだけすれば解き方、答え、問題が載ってるページ数すら覚えられる。」と簡単そうに答えてくれました。

目からウロコでした。賢いこの人は何か裏技のような時間がかからない勉強方法を知っているのだろうと思っていました。そんなものはなく、ただただ地道に努力を繰り返すだけだったとは。

そのときから一緒に勉強し始め、数学はほとんど100点を取れるまでになりました。正しい努力には正しい結果がついてくる、とどこかの偉人も言っていました。まさに人生が変わった瞬間でした。

僕にとってのAさんのように、僕はみなさんの未来をより良い方向に持っていくお手伝いをしたいと心から思って WILL で先生をしています。勉強は楽しいだけでないことはよく知っています。だからこそ、価値があるのです。一緒にがんばっていきましょう！」

(来月は池田先生の予定です)

(卒 業 生 来 塾)

8月もたくさんの卒業生が来塾してくれました。

まず、最初にご紹介するのが O.S さん。毎年1～2回必ずお土産を持って来塾し、近況報告をしてくれます。

実は、今大阪府庁に勤めているんです。お仕事が忙しく大変だと、明るい笑顔で話してくれました。

その表情からは、毎日がとても充実している様子が感じられました。WILL を卒業してからもう10年になるんです。人一倍幼くってシャイだった O さん。すっかりお姉さんになって、きれいになっていました。今度来るときは、ひよっとしたら結婚(?)の報告があるのかな?いつも突然の来塾だけど、気が向けばいつでもまた来てくださいね。



表情もすっかりお姉さんっぽくなった O.S さん。

次に、N.K 君。久しぶりの来塾です。卒業後私立の M 高校へ進学。先日カナダへ修学旅行に行ってきたそうで、お土産を持ってきてくれました。ついこの間卒業したばかりだと思っていたのに、もう修学旅行なんですね。中学時代、少し弱々しく見えていた N 君。久しぶりに会うと、すごく男らしくなって、精悍な顔つきになって見えました。勉強も順調だそうです。大学受験も頑張ってくださいね。



少し精悍になって見えた N.K 君。



次に、3人で来てくれたのが、仲良し3人組の I.M さん、そして N.U さんと O.M さん。

実は3人はみんな違う中学校の卒業生。浅香山中・長尾中・三国丘中の出身なんです。そして進学した高校も異なります。3年生のとき WILL で同じクラスになり仲良くなりました。高校2年生になった今でも仲良しなんですね。



いつも明るい3人です。

その日は3人で一緒に食事に行った帰りに、ちょっと立ち寄ってくれました。3人とも楽しく高校へ通っている様子でした。でも、高2になると休みの日にはみんなお化粧するんですか?大人びて見せようとしても、私から見ればまだまだ幼い中学生のころのまんまなんですけど。(m´・ω・`)m コムル…

<時間割と授業システムの変更について>

先日のお手紙でもお伝えしました通り、9月4日（月）から授業システムと時間割を変更して授業を行います。

生徒の皆さんにとって塾へ来る目的は何ですか？

まず「成績を上げること」ですよね。当然、私たちの使命はそんな生徒たちの思いを実現するためのお手伝いをすることです。



1クラス6名の授業形態の様子

そのために英数は1クラス6名以内の超少人数制を採用したんです。少しでも授業内容がみんなに伝わりやすいように、講師が一人一人の顔を確認しながら授業を進めていけるように。そして、生徒が気軽に質問しやすいように。

でも、そこに一つの弱点があります。それが「依存心」をもちやすいということです。ちょっとでもわからないことがあると、考えもせずすぐに「わからん」と言って、講師を頼ってしまうのです。すぐそばにいるから、尋ねやすいのですね。それは最大の長所ではあるけど、しかし欠点でもあったんです。

様々な場面での検証を繰り返し、また勉強会にも参加して考え尽くしました。勉強は「わかる」だけではなく「できる」ようになることが大切なんです。実は、多人数のほうが生徒たちの解く問題演習量が圧倒的に多く、アウトプットには適しているんです。

そこで考え出されたのが今回のシステム、名付けて“WES式ハイブリッド授業”です。

授業形式の、いわゆる“インプット”の授業は6名以内で、そして問題演習をする、いわゆる“アウトプット”の授業は1クラスの人数をもう少し増やし授業時間を長くして行うの



6名の枠を取り払った授業形態の様子

です。これによって、少人数制の短所を補いながら生徒が成績アップを図れることとなります。

2学期は勉強内容が少し難しくなりますが、1学期以上の結果が出せるよう、新システムの中で一緒に頑張りましょう。

<小6生の「中学準備英語」開講について>

すでにお伝えしておりました通り、9月より「中学準備英語」を開講します。

年々「英語」の重要性の声が高まっています。
政府も、平成32年度（3年後）から小5からの英語の教科化を発表しました。



昨年度の小6「中学準備英語」の授業の様子

それまでの「外国語活動」は「英語のコミュニケーション能力の基礎を養う」ことに重点を置いて、英語に慣れ親しむことを中心とした授業であったのが、今後は一つの「教科」として、具体的に「英語のスキルを育てること」に主眼を置いた授業になるのです。

つまり、英語に慣れるためのいわば「お遊び」の延長のような授業で、簡単な英単語やあいさつ程度の会話を練習するだけだったのが、今後「読み・書き」も含めた本格的な英語に移行していくことになるのです。



今の小6生が学校で学ぶ英語は、もちろんコミュニケーション重視の活動です。しかし、中学生になると、テスト（主に筆記）で評価をされる教科としての英語に変わります。主に「読み・書き」といったことを重視する英語です。（もちろん、今後は「話す・聞く」といった英語も重視していこうという傾向にあります）

多くの中学生が、小学校の英語から、中学校の英語への変化についていくことができずに、「英語嫌い」になってしまうのです。

WILL 教育ゼミの「中学準備英語」は、そういったことがないように、少しでも中学校の英語にスムーズに入っていけるようにすることを目的に開講するのです。

指導するのは、中学校の英語を指導する当塾のベテラン講師です。安心してお任せください。

一人でも多くの小6生の皆さんの受講をお待ちしています。

詳細につきましては、お送りしています「中学準備英語のご案内」をご覧ください。

<中3生の「受験対策プレミアム授業」開講について>

昨年度まで「土曜特訓」という名称で、通常授業以外に、英語・数学のみの受験対策授業を開講していましたが、今年度より「受験対策プレミアム授業」という名称で、生徒それぞれのご希望に添えますよう英語、数学だけではなく、理科・社会の対策授業も行います。

9月第3週目より始まるこの授業は、とにかく、2学期の成績をしっかりとって、来年の入試で「合格」の二文字を勝ち取るために実施するものです。

2学期の成績が最も重視される高校受験において、これからが本当に重要な時期を迎えることとなります。

通常授業の時間も増えますから、それ以外に塾へ来てさらに勉強をするのは、大変だと思います。しかし、そういったことを乗り越えた先に、志望校合格があるはずです。



中3生は、この夏休みに本当に良く頑張ってくれました。私たちが想像していた以上に頑張ってくれたと思います。

その頑張りを、2学期のテストで、そして入試で、「結果」として表してこそ、やった価値があったというもの。

私立高校入試まであと5か月、公立高校入試まであと6か月余り。

最後の最後まで頑張りぬいて、悔いのないようにしましょう。そして、志望校に絶対に合格しましょうね。私たちも、できる限りの努力をして、みなさんの頑張りに応えていきたいと思っています。

尚、受験対策プレミアム授業の詳細については、すでにお送りしています「受験対策プレミアム授業のご案内」をご覧ください。

<WILLの卒業生たち> ～第3回 T.H君～

「なんで半袖Tシャツ一枚やねん」

冬期講習の真っ最中のことだった。他の生徒が全身を防寒着で包み寒さに震えながら塾へ来ている中、T君は半袖のTシャツ一枚とGパン。まるで真夏の出で立ちで通塾していた。T君曰く「暑くなったら勉強集中できへんから」

そんなT君がWILLに入塾したのは中学二年の春のことだった。他塾へ通っていた一年の頃の成績は300点代の後半、至って平凡な成績だった。WILLに入塾してから間もなく、彼の能力にキラキラと光るものを感じた。三年生になるころには450点を超えることが当たり前、模試の偏差値も70が当たり前になっていた。

「三国丘高校より上の高校に行きたい」本人とご家庭の要望もあり奈良県のN高校を目標と定め、難関私立高合格を目指した。通常授業とは別に特別指導も開始された。夏休みの終わりにはほぼ中学校過程が終了。更に高度な内容に進んでいった。このスピードに彼は十分に付いてきていた。成績は瞬く間に急上昇。偏差値はとうとう76にまでに達した。2学期には難関私立向けの特別模試も受け始めた。

ある時彼が私に言った。「俺、勉強の三段階目に入ってると思う」それは常々私が生徒達に言っていた言葉であった。勉強の第一段階は苦痛、第二段階は不安、そして第三段階は歓喜がやってくる、というものだった。勉強は誰でも最初は苦痛で始まるのかもしれない。しかし、勉強の本当の楽しさが分かればそれが歓喜に変わり成績は確実に伸びる。

勉強が楽しいと思えたときに成績は勝手に伸びていく。これは、私自身が大学受験の際に実感したことだった。T君はその時の私と同じ気持ちを感じていたのかもしれない。

T君はN高校を受験した。T君と共に受験した友人(後に三国丘高校へ合格)が「多分点数一桁やと思う」という入試問題。T君は120点満点中114点、ほぼ満点に近い点数を収め見事合格した。彼は今、獣医師となり和歌山県庁で働いている。以前彼が訪ねてき、少しお酒を酌み交わしながら食事を共にした時のことである。「今、鳥インフルエンザで大変なんですよ。」大変だと言うT君の顔からは、しかしながら満面の笑みがこぼれていた。今の仕事につけたことに喜びを感じているように思えた。

(ホームページより転載。一部改編)

<WILL 教育ゼミ 9・10月イベント>

1. 中学生のクラス・時間割の変更

9月4日(月)～

※ 成績の伸び具合により、クラスの途中変更をすることもあります。

2. 中3生実力テスト対策

9月度の実力テストに向けて、下記の日程で「実力テスト対策」を実施します。

9月 9日(土)・10日(日) … 全員

9月16日(土)・17日(日)・18日(月) … 長尾

※ 時間など詳細につきましては、直接生徒の皆さんにお伝えいたします。

3. 9月・10月の祝祭日の授業について

9月18日(月) (敬老の日) 塾 通常授業なし(但し、中3の実力対策あり)

9月23日(土) (秋分の日) 塾 通常授業あり

10月 9日(月) (体育の日) 塾 通常授業あり

4. 小6生「中学準備英語」

9月20日(水)より開始し、原則毎週水曜日に授業を行います。

時間帯 5:35～6:35

5. 中3生「受験対策プレミアム授業」

9月第3週目(9月10日からの週)より開始。

時間割など詳細は、別紙「時間割表」をご覧ください。

6. 中3生「三者懇談会」の実施について

9月30日(土)・10月1日(日)に三者懇談会を実施いたします。

※詳しい時間帯につきましては、後日ご案内いたします。

月	日	曜	行事予定	月	日	曜	行事予定	
9	1	金		10	1	日	中3三者懇談会・中3生模擬テスト	
	2	土			2	月		
	3	日			3	火		
	4	月	塾 新時間割授業開始		4	水		
	5	火			5	木		
	6	水			6	金		
	7	木			7	土		
	8	金			8	日	中学生 中間テスト対策 (8日～16日)	
	9	土	中3生9月度実力テスト対策		9	月		(体育の日)通常授業あり
	10	日	中3生9月度実力テスト対策		10	火		
	11	月	五ツ木模試		11	水		
	12	火			12	木		
	13	水	浅香山中実力テスト (中3)		13	金		
	14	木	受験プレミア開始		14	土		
	15	金			15	日		五ツ木模試
	16	土	↑ (中3長尾) ↓ 実力対策		16	月	↑ 三国中・五箇荘中 中間テスト	
	17	日			17	火	↑ 長尾中・浅香山中 中間テスト	
	18	月		(敬老の日)通常授業なし		18	水	↓
	19	火			19	木		
	20	水	小6生「中学準備英語」開始		20	金		
	21	木	長尾中実力テスト (中3)		21	土		
	22	金			22	日		
	23	土	(秋分の日)通常授業あり		23	月		
	24	日			24	火		
	25	月			25	水		
	26	火			26	木		
	27	水			27	金		
	28	木			28	土		
	29	金			29	日		
	30	土	中3三者懇談会		30	月		
					31	火		



堺で生まれて23年、子どもたちの未来を育む —— 1クラス6名の超少人数制学習塾

WILL 教育ゼミ

堺市北区東雲東町1-6-23宝永ビル2F

Tel 072(254)9988 Fax 072(254)9998

e-mail: willzemi@themis.ocn.ne.jp

HP <http://jukutown.com/will-education/>